

## <被爆70年 今できること>

2013年9月26日に初の国連総会「核軍縮ハイレベル会合」が開催されたことにちなんで、国連は9月26日を「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」と決めました。今回で2回目となる今年の国際デーは、広島・長崎への原爆投下から70年になる節目の年にあたり、国連と市民社会とが協力してイベントを開催します。

日時： 2015年9月26日（土） 午後2時 - 4時30分 （午後1時30分開場）

会場：国連大学ビル 2階レセプションホール

主催：核兵器廃絶日本NGO連絡会 共催：国連広報センター

### <プログラム>

基調講演 「私たちにとってヒロシマ・ナガサキとは」 作家・高橋源一郎さん

ビデオメッセージ：マイケル・ダグラスさん

パネル討論 「核廃絶へ、今できること」

司会 根本かおる 国連広報センター所長

パネリスト 相川一俊 外務省 軍縮不拡散・科学部長

藤森俊希 日本原水爆被害者団体協議会 事務局次長

小桜智穂 第16代高校生平和大使

菅井智 日本赤十字社 国際部次長

スティーブン・リーパー 前・広島平和文化センター理事長

1人でも多くの市民が広島・長崎の被爆体験について改めて考えると共に、世界規模の核戦争はいうまでもなく、わずか1発の核兵器が人類にもたらす壊滅的な結果・影響への世界的な懸念が高まっている国際情勢を知り、核兵器廃絶に向けて今できること、すべきことを国際デーという大きな枠組みの中で考える機会になればと願っています。

### 核兵器廃絶日本NGO連絡会について

核兵器廃絶に向けて日本国内で活動しているNGO・市民団体の連絡組織です。1998～99年の「核不拡散・核軍縮に関する東京フォーラム」や、2008～10年の「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会（ICNND）」に働きかけた経過等を踏まえ、2010年に発足しました。核兵器廃絶のための課題のうち、特に以下の課題に重点的に取り組んでいます。

- (1) 核兵器禁止条約を含む、核兵器非合法化のための世界的な枠組み
- (2) 安全保障政策における核兵器の役割の縮小
- (3) 原子力の民生利用に対応する核不拡散のための新しい手立て
- (4) 北東アジアにおける地域的非核・平和のシステムの構築

共同世話人は、以下の5名です（2012年10月現在）。

川崎哲 （ピースボート共同代表）

田中熙巳 （日本原水爆被害者団体協議会事務局長）

朝長万左男 （核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員長）

内藤雅義 （日本反核法律家協会理事）

森瀧春子 （核兵器廃絶をめざすヒロシマの会共同代表）

連絡先：[nuclear.abolition.japan@jgmail.com](mailto:nuclear.abolition.japan@jgmail.com)